

10年7月14日市警ニュース

JSS 和訳

男に詐偽3件の嫌疑、犯人の写真公開

市警は詐欺事件捜査に関連して一般の協力を求めている。

事件概要は:

- 犯人は Indo-Overseas Management Group 別称 IOMG Inc. ないし IOMG Canada のオーナーで
- 移住手続きに関して助力を求めているカレッジないしは大学生を狙って
- 南アジアコミュニティー向けの新聞ないしはインターネットに広告を出し
- 新たに移住しようとしている人にサービスを約束し、前金を要求し、
- 前金を受領してもサービスは皆無ないしは殆ど行わずに被害者との連絡を絶つ
- この男は正規の移住コンサルタントないしは補助弁護士か弁護士である印象を与えるが
- 実際には Canadian Society of Immigration Consultants または Law Society of Upper Canada の免許を得ていない。

トロント在住の Kishorbha Patel 38 才には、

- 1) 5000ドル以下の詐偽、
- 2) 5000ドル以上の詐偽3件の嫌疑がかかっている。

市警はさらに被害者があると見ている。

事件に関する情報を持っている人は市警(電話 416-808-1400)、または匿名でクライムストッパーズ(電話 416-222-TIPS (8477)、オンライン www.222tips.com、またはテキスト通信 text TOR でメッセージを CRIMES (274637))に連絡されたい。

(写真割愛、市警サイトご参照ください)

JSS 説明

訳出した記事は必ずしも日本人ないしは日系カナダ人や日本からの新たな移住者を狙った犯罪に関するものではないと考えられるが、移住手続きをすすめようとしている学生を狙っていると言う点で、同じ立場にある人々は、安易に見過ごしてはならない事件と思われる。

さらに、警察の発表ではないが、本稿末尾に要約を添付した、比較的若年の留学生の状況は安全なものではないことを示す記事が、13日のグローブアンドメールに掲載された。

近年、留学やワーキングホリデーの名目で短期、中期にカナダに滞在、そしてその多くはホームステイをする比較的若年の人々の数が、日本文化を背景に持つ人々に限らず増加している。記事は、そういった人々が、犯罪や搾取の標的になったり、ホームステイのホストなどによって暴行や虐待を受けたり、さらに自身の生活が野放図になったりすることも少なくないことを調査によって明らかにしている。

それぞれの立場上、かれらと何らかの接点を持つ可能性がある我々としては、注意を喚起するだけではなく、かれらが一時の興味で道を誤ることのないよう、機会を見つけて働きかけることの必要性を認識すべきである。

(添付資料)

ホームステイをしている外国人留学生は
(性的) 暴行を受けやすく、麻薬の常用、
過度の飲酒に陥りやすい (グローブアンド
メール 7月 14 日記事抜粋)

が後に判明している。

(以上は7月13日版グローブアンドメール
紙の、Kate Allen 記者による記事より抜粋)

最近、UBC 看護科から発表された、BC 州
に滞在している G7~12 の学生 3000 人を対
象とした調査結果では、英語を学ぶために
カナダに滞在し、ホームステイしている学
生は、カナダに移住した、ないしはカナダ
生まれの学生に較べて；

- 麻薬 (コカイン) の常用が 6 倍、
- 過度の飲酒が 3 倍
- 性的な行動に積極的で、
- より頻繁に学校をサボり
- 性的暴行を受けた経験は通常の学生が
9%に対し約 25%になっている

という結果となった。

さらにホームステイのホストについては、
適否の判断は斡旋業者ないしは、語学学校
などの宿舎斡旋係りによる自主的なスクリ
ーニングが行われているのみで、公的機関
によるものないしは法的な規制は無く、ほ
ぼ野放しの状態である。自主的なスクリ
ーニングでは、警察の犯罪暦などを参照して
いる例も見られるが、犯罪暦によるスクリ
ーニングでは意味を成さないと言う声もあ
る。

最近警察が踏み込んだバンクーバーの売春
宿では、中国から来てホームステイ中の 17
才の女子学生が 2 名、他の成人女性 2 名と
共に発見されている。宿主は売春目的の人
身売買の嫌疑をかけられている。

又 2007 年に、4 人のアジア人女性からの盗
み及び殴打の咎で逮捕された男は、若い外
国人学生のホームステイホストだったこと